

シンポジウム 1



S-1 5月20日（水） 13：15～15：15 第13会場（ホテル日航新潟 4階 朱鷺B）

神経疾患の医師主導治験の成功に向けて

座長：宇山 佳明（独立行政法人医薬品医療機器総合機構 安全第一部）

小野寺 理（新潟大学脳研究所生命科学リソース研究センター脳疾患リソース解析部門）

S-1-1 神経変性疾患のdisease-modifying therapyを目指した我国初の医師主導治験の経験から
演者：祖父江 元（名古屋大学病院 医学系研究科 神経内科）

S-1-2 Crow-Fukase症候群に対するサリドマイド医師主導治験の経験から
演者：桑原 聡（千葉大学大学院医学研究院 神経内科学）

S-1-3 医師主導治験における規制・制度と、未承認薬・適応外薬の実用化に向けた取り組み
演者：岩瀬 怜（厚生労働省 医薬食品局 審査管理課）

S-1-4 審査側からの留意点
演者：佐久嶋 研（（独）医薬品医療機器総合機構）

S-1-5 稀少疾患治療薬開発に関する製薬業界からのSuggestion
演者：稲垣 治（日本製薬工業協会 医薬品評価委員会／アステラス製薬株式会社）

シンポジウム 2



S-2 5月23日（土） 14：00～16：00 第2会場（朱鷺メッセ 2階 メインホールB）

日本神経学会教育施設における診療・研修の現況と問題点

—専門医に必要な当該領域の素養と利用可能な教育資源、研修機会—

座長：鈴木 匡子（山形大学大学院医学系研究科 高次脳機能障害学）

犬塚 貴（岐阜大学大学院医学系研究科 神経内科・老年学分野）

【現況・問題提起】

S-2-1 日本神経学会教育施設における診療・研修の現況と問題点：アンケート調査が語るもの
演者：亀井 聡（日本大学医学部 内科学系 神経内科学分野）

【有識者からのコメント】

S-2-2 神経専門医に必要な神経生理（筋電図）検査の素養と利用可能な教育資源・研修機会
演者：園生 雅弘（帝京大学 神経内科）

S-2-3 専門医に必要な長時間ビデオ脳波モニター検査の素養と利用可能な教育資源、研修機会
演者：赤松 直樹（国際医療福祉大学福岡保健医療学部／福岡山王病院脳神経機能センター）

S-2-4 専門医に必要な神経放射線検査の素養と利用可能な教育資源、研修機会
演者：青木 茂樹（順天堂大学医学部放射線医学教室）

S-2-5 専門医に必要な神経病理学の素養と利用可能な教育資源、研修機会
演者：吉田 眞理（愛知医科大学 加齢医科学研究所）

S-2-6 専門医に必要な末梢神経・筋病理学の素養と利用可能な教育資源、研修機会
演者：小池 春樹（名古屋大学神経内科）

S-2-7 脳神経超音波検査 技術習得と認定検査士制度について
演者：井口 保之（東京慈恵会医科大学 神経内科）

S-2-8 専門医に必要な高次脳機能の診察と検査をいかに学ぶか
演者：鈴木 匡子（山形大学大学院医学系研究科 高次脳機能障害学）

S-2-9 専門医に必要な先天性小児神経疾患の素養と利用可能な教育資源、研修機会
演者：岡本 伸彦（大阪府立母子保健総合医療センター 遺伝診療科）

- S-2-10 専門医に必要な遺伝子検査の素養と利用可能な教育資源，研修機会
演者：戸田 達史（神戸大学大学院医学研究科神経内科学）

シンポジウム 3

S-3 5月23日（土） 14：00～16：00 第11会場（ホテル日航新潟 3階 孔雀）

他学会に学ぶ男女共同参画

座長：永井 博子（押木内科神経内科医院）
宇川 義一（福島県立医科大学神経内科）

- S-3-1 日本腎臓学会の取り組み
演者：内田 啓子（東京女子医科大学学生健康管理センター・腎臓内科）

- S-3-2 日本消化器病学会の取り組み
演者：名越 澄子（埼玉医科大学総合医療センター消化器・肝臓内科）

- S-3-3 日本循環器学会の取り組み
演者：樗木 晶子（九州大学大学院医学保健学部門）

- S-3-4 日本リハビリテーション学会の取り組み
演者：浅見 豊子（佐賀大学医学部附属病院リハビリテーション科）

- S-3-5 日本神経学会キャリア形成促進委員会：3年間の歩みと今後の取り組み
演者：荻野美恵子（北里大学医学部附属新世紀医療開発センター横断的医療領域開発部門包括ケア全人医療学）